

救急医療の適正利用

急病等に備え、苫小牧市では救急医療体制を整えています。入院や手術を必要としない**初期救急**と、緊急性があり入院や手術を必要とする**二次救急**では、受診する医療機関に違いがあります。救急医療を適正に利用することで、地域医療や大切な命を救うことができます。適正利用にご協力をお願いします。



初期救急とは

【入院や手術を必要としない場合(主に日帰り)】

平日の診療時間内

- できるだけ、平日の診療時間内に受診するようにしましょう
- かかりつけ医あり⇒かかりつけ医に相談しましょう
- かかりつけ医なし⇒お近くの医療機関を受診しましょう

平日の夜間・祝日の場合

- 夜間・休日急病センター（※）を受診しましょう

日曜・祝日の場合（外科）

- 休日当番病院・医院を受診しましょう。医療機関は、ホームページで確認してください

※夜間・休日急病センター（内科、小児科）

所在地 旭町2丁目9番2号

電話 0144-32-0099

診療時間 平日 午後7時00分から翌朝7時00分

土曜日 午後2時00分から翌朝7時00分

日祝日 午前9時00分から翌朝7時00分

二次救急とは

【入院や手術を必要とし緊急性が高い場合】

平日の夜間・祝日等の場合

二次救急は輪番制になっています

- 偶数日⇒王子総合病院
- 奇数日⇒苫小牧市立病院

軽い症状の方が、二次救急を受診すると重症の方の診療に支障が出ます。

症状が軽いと思われる方は、まず、初期救急を受診しましょう。

かかりつけ医をもちましょう！

かかりつけ医は、風邪や体調がすぐれない時に受診をしたり、自分の健康について相談ができる身近で頼りになる「まちのお医者さん」のこと。

自分の体のことをよく知っている医師がいれば、体調不良時にも安心感があります。



救急出動件数が急増しています！！

苫小牧市内では、6隊の救急隊が皆さんの救急要請に対応していますが、令和元年時点で8,461件であった出動件数は急増しており、現在では10,000件を超えています。

なかには、このような救急要請も・・・

- ・「お酒を飲みすぎて頭が痛い！ので救急車・・・」
- ・「風邪をひいて日中様子を見ていたが、熱が下がらないし夜間で病院がやっていないので救急車をお願いします。」
- ・「夜になっても寝ることができない・・・」

苫小牧市民の皆さんはどのように考えますか？

問合せ先 苫小牧市健康支援課
苫小牧市消防署救急課

☎ (0144) 32-6407
☎ (0144) 84-5044